

ステージゲート・プロセスを活用した R&D テーマ評価・選定のマネジメント

～ステージゲート・プロセスの本来の意味、価値を再考し、それを踏まえた実際の運用活動・体制について解説します～

【開催要領】 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日時▶ 2019年 11月 21日(木) 13:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

【開催にあたって】

既に日本企業の多くが、研究開発マネジメントにステージゲート・プロセスを採用しています。しかし、そこにはステージゲート・プロセスについての誤解が存在し、また本来のステージゲート・プロセスの本来の意味や価値を押さえたマネジメントをしておらず、ステージゲート・プロセスを最大限に活用している企業は少ないのが現状です。ステージゲート・プロセスは、本来は研究開発テーママネジメント、イノベーションマネジメント、技術戦略、マーケティングそして事業戦略を統合した戦略的なマネジメント体系で、まさに日本企業が「技術で勝って、事業でも勝つ」企業となるための有力な処方箋となりえるものです。本セミナーでは、ステージゲート・プロセスの本来の意味、価値を再考し、その後、それを踏まえた実際の運用活動・体制についての議論を行います。本セミナーは、ステージゲート・プロセスについて初めて学ぶ方から、既にステージゲート・プロセスを利用されている方まで、広い層の方々を対象とします。

講師 ▶ ベクター・コンサルティング株式会社 代表取締役社長 浪江 一公 氏

講師紹介
大手電機メーカー、アーサー・D・リトル(ジャパン) ㈱、㈱フュージョンアンドイノベーション等を経て、現在ベクター・コンサルティング(株) 代表取締役社長 経営及び技術マネジメントに関するコンサルティングにおいて30年以上の経験を有す。日本工業大学大学院 技術経営研究科教授を兼任。北海道大学工学部、米国コーネル大学経営学大学院(MBA) 卒 著書・訳書に「プロフィット・ピラミッド 超高収益を実現する14のシンプルな法則」(著書)ダイヤモンド社(韓国語及び中国語でも出版)、「エマソン 妥協なき経営」(訳書)ダイヤモンド社、その他共著・共訳、雑誌への寄稿多数近著(翻訳):「ステージゲート法 製造業のイノベーションマネジメント」(原著「Winning at New Products」ロバート・クーパー著) 英治出版 2013年

【申込方法】 当会ホームページ(https://www.bri.or.jp)からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用状況(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	35,200円(本体価格 32,000円)	一般	38,500円(本体価格 35,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

191634-0101(※) R&D テーマ評価・選定のマネジメント

ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 職		
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 セミナー事業グループ 担当/民秋 E-mail:tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR 麹町ビル2F 【DM停止連絡】03-5215-3512

・プログラム・

1. ステージゲート・プロセスとは

- (1) ステージゲート・プロセスとは
- (2) ステージゲート・プロセスの背景と歴史

2. なぜ今ステージゲート・プロセスなのか?

- (1) 21世紀の日本の産業界の現実と日本企業が行く道
- (2) 革新的な製品・事業・技術創出には
- (3) ステージゲート・プロセスの本質的価値

「不確実性をマネジメントし革新的製品を継続的に創出する」

3. ステージゲート・プロセスの誤解

- (1) ステージゲート・プロセスはテーマを切るためのもの
- (2) ハードル点に達しないテーマは機械的に中止
- (3) テーマの進捗管理の手法
- (4) ステージゲート・プロセスはデザインレビューの一部
- (5) 不確実性の高い初期段階では役に立たない

4. 不確実性対処法としてのステージゲート・プロセスの11の工夫

- (1) 不確実性を低減する(市場との継続的対話、フロントローディング等)
- (2) 不確実性を所与とする(多産多死、中止の意思決定をする方法、多段階プロセス、段階的評価等)
- (3) 不確実性に起因する判断の誤りを所与とする(継続の自由を与える等)
- (4) 中止にしても成果を活用(中止になっても金庫に保存、成果を外部に提供)

5. ステージゲート・プロセスの種類

プロセスは複数用意するもの

6. ゲートの運営

- (1) ゲートの役割
- (2) ゲートにおける評価項目の全体像
 - ・プロジェクトの進捗度、プロジェクトの魅力度、今後の目標・施策と計画
- (3) プロジェクトの魅力度の評価の具体的説明(本項目は詳細に議論します)
 - ・事業/製品の定義、市場魅力度、自社適合度、財務目標達成度、リスクと対応策
- (4) ゲート別評価項目設定の考え方
- (5) 誰が評価するか
- (6) 誰が成果物(ゲートでの評価用資料)を作るか
- (7) 効果的なゲートミーティングの進め方
 - ・議論の仕方のステップ
 - ・事前の成果物の評価者への提出
 - ・検討会でのプレゼンテーションと質疑応答
 - ・効果的な検討会での評価者の間での議論と意思決定法
- (8) プロセスマネジャー(ステージゲート・プロセス運用管理者)

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで 2種類のセミナーをご案内しております。